

創立18周年記念

# 取手の 坂道 あれこれ

2021年度版



野々井の坂道

取手の坂道愛好会

## 「取手の坂道あれこれ」 発刊に当たって

取手の坂道愛好会も活動を開始してから、早や18年を経過した。その間下記のような活動を続けて来た。

地形的に坂道の多い取手市の「取手の坂道愛好会」の活動について

南北を利根川と小貝川に挟まれ、北相馬台地の東端に位置する取手には坂道が多い。我々は2回に亘って、取手を15地区に分けて、坂道を調査し、白地図に記載し、**1) 坂道リストファイル**を作成した。その結果坂道の数は400近くにもなることが分かった。その間に**2) 小冊子1, 2**を作成し又**3) 駅周辺の地形模型、小文間の地形模型**も作製した。**4) 取手15地区の坂道を巡る散策マップファイル**も作成した。最近はその中から代表的な**5) 3地区の散策マップパンフレット**も作成した。その間に坂道に名称を付けて道標を建立、現在まで**I、II、III期に亘り6) 12の坂道に16基の道標**を建てた。そして400近くの坂道から、取手の名坂、階段坂、私の選んだ坂道、最近では**7) 取手の坂道12選**などを選んで、年1回の取手駅東西通路の市民ギャラリーでの展示などを通じて紹介して来た。今迄の活動（他地域 東京、我孫子、水戸とのコラボレーション活動なども含めて）の記録も**8) 3冊の活動記録ファイル**に纏めている。

そこで、今迄の活動の経緯を纏めて、小冊子を作って見たらどうかと云う話が持ち上がり、自分史ならぬ特徴のある（ユニークな）愛好会史を編纂する事にした。

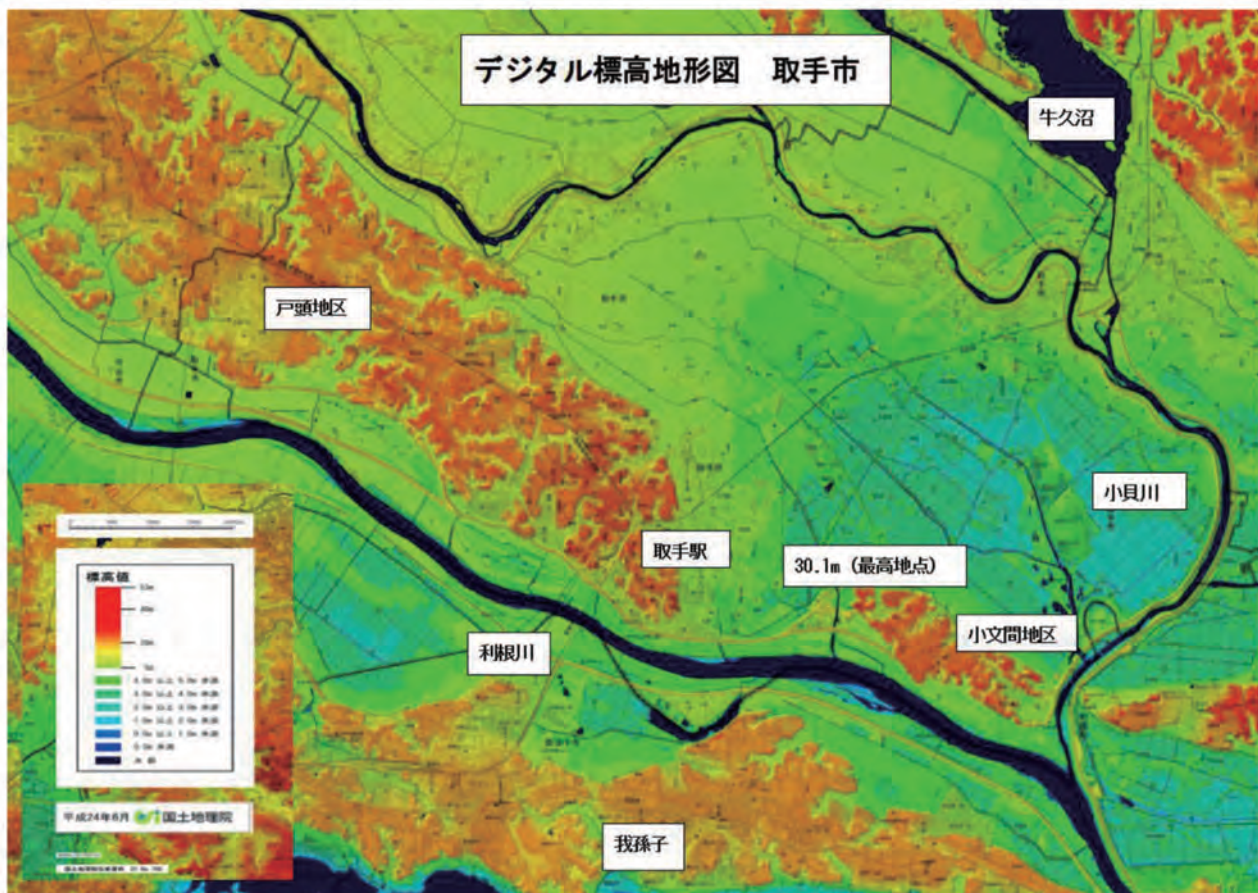
取手の坂道愛好会 会長 酒井達夫

## 目次

1	取手の坂道あれこれ発刊に当たって	1
2	目次	2
3	取手の坂道愛好会とは	3
4	坂道年表「取手の坂道愛好会」18年の歩み	4
5	活動スナップ（2005年10月～2021年3月）	6
6	取手の坂道愛好会が作ったファイル	11
7	取手の坂道愛好会の活動が掲載された新聞記事	13
8	「取手の名坂12選」（取手の坂道愛好会推薦）	14
	「取手の名坂12選」 全体の案内図・詳細案内図	
	「取手の名坂12選」の写真	17
9	取手の坂道愛好会 建立の「道標」のある坂道	19
	「道標」の所在 全体の案内図・詳細案内図	
	「道標」の写真	21
	建設作業スナップ	23
10	3か所の散策コースマップ	24
	岡・下高井 散策コース	25
	取手駅周辺 散策コース	27
	小文間 散策コース	29
11	取手の坂道愛好会と坂道文化について	31
	取手の坂道 スケッチ集	32
	坂道音頭・坂道行進曲	35
12	取手の坂道愛好会 メンバー紹介	37
13	あとがき	38

## 「取手の坂道愛好会とは」

取手市は近隣に較べて地形的に見て坂道が多い事から、これを取手市の一つの大きな特徴と捉えて、一見人々が敬遠しそうな、坂道と云うキーワードに共鳴した人達が集まり、ここに「取手の坂道愛好会」が誕生し、現在に至っている。あくまでも坂道がメインであるが、それに拘らず様々な活動を展開し、今に至っている。



取手市は南北を利根川と小貝川に挟まれ、北相馬台地の東端に位置する為に坂道が多い。標高の最高地点は約30mである。

# 坂道年表「取手の坂道愛好会」18年の歩み

年次・実施月	主な活動内容と活動の成果（括弧内）	散策・旅の記録
2003年（平成15年） 10月	「取手の坂道愛好会」が発足。白山公民館で発足会。	
2004年（平成16年） 3月 9～10月	10名で会の活動開始 とりで環境フェアに出展（取手の坂道小冊子1号発行） 第1回目の市民ギャラリー展示（駅周辺地形模型制作）	
2005年（平成17年） 1月 7月 10月	とりで環境フェア出展（取手の坂道小冊子2号発行） 第2回市民ギャラリー展示 健康福祉まつりに初参加、	岩井「将門の里」
2006年（平成18年） 5月 9～10月 11月	岡堰鯉のぼりイベント開催に協力。 第3回市民ギャラリー展示 とりでアートプロジェクト企画に出品「取手の坂には音がある」	
2007年（平成19年） 2月 4月 11月	取手駅周辺の坂道に道標建設「さくら坂」にて除幕式挙行 （さくら坂、雁耕坂、治助坂の道標） 小文間公民館まつりで展示 取手一高の文化祭（雁耕祭）に展示を出品 第4回市民ギャラリー展示	岡・下高井 新町・白山 南アルプス横断の旅 （10月）
2008年（平成20年） 6月 11～12月	朝日新聞茨城版「学び最前線」に会の活動が紹介される 第5回市民ギャラリー展示（小文間地区地形模型制作）	戸頭 寺田・野々井 小文間、井野台
2009年（平成21年） 7月 11月	取手図書館30周年記念行事に参加・展示 第6回市民ギャラリー展示 朝日・読売・茨城各新聞に市民ギャラリー展示の記事掲載	市之代、小文間 台宿、稲・寺田 本郷・駒場
2010年（平成22年） 12月	第7回市民ギャラリー展示 市民ギャラリー展示の記事各紙に掲載	新取手、野々井 西取手、小文間、白山 我孫子市内
2011年（平成23年） 1月 3月 6月 12月 12～1月	取手ロータリークラブで坂道愛好会紹介プレゼンテーション実施 「我孫子の景観を育てる会」と交流。 朝日新聞に治助坂の道標が紹介される （小文間大日坂に木製道標） 広報とりで12月号に、駅周辺の坂道の道標が紹介される 第8回市民ギャラリー展示	台宿・小文間 守谷 下高井 東京谷中
2012年（平成24年） 4月 12～1月	朝日新聞「利根川新紀行」で会の活動が紹介される 市内の散策コースマップの編集（坂道散策コースマップファイル） 駅周辺の道標の文字塗りなおし 第9回市民ギャラリー展示（坂道愛好会活動報告アルバム） （No.1）	貝塚・上高井、小文間 岡・下高井 東京千駄木根津本郷 つばみらい 水戸市内



# 坂道年表「取手の坂道愛好会」18年の歩み

年次・実施月	主な活動内容と活動の成果(括弧内)	散策・旅の記録
2013年(平成25年) 1～11月	小文間5つの坂に道標建設11月完成・除幕式挙行 (馬坂、勘右衛門坂、大日坂、直右衛門坂、動坂の道標) 新聞各紙および広報とりでで紹介される	埼玉鉄道博物館(11月) 小文間、台宿、戸頭 野々井・米ノ井 東京王子・十条-、守谷
12～1月	第10回市民ギャラリー展示	
2014年(平成26年) 1～2月	道標建設の今後について市と協議 (坂道愛好会活動報告アルバム No.2)	岡・下高井・台宿 高遠さくらツアー(4月)
9～10月 11月	駅周辺、小文間に続く第三期道標建設 道標除幕式(山中坂にて)毎日新聞、広報とりでに掲載 (台宿坂、山中坂、榎坂、銀杏坂の道標)	小文間(芸大) 東京春日・白山
12～1月	第11回市民ギャラリー展示	
2015年(平成27年) 4～6月	取手図書館にて展示(取手市図書館祭り) 健康づくり推進室との懇談会 市政45周年で表彰される	市之代、旧水戸街道藤代宿 旧水戸街道若柴宿(龍ヶ崎) 東京湯島
11月	取手400の坂道再調査結果をまとめる (新・取手の坂道ファイル作成)	谷川・水上ツアー(10月)
12～1月	第12回市民ギャラリー展示	
2016年(平成28年) 8月	小文間公民館にて小文間地区の坂道に関する 資料展示(5年間)	東京赤坂 守谷野鳥の森
11月 12月 12～1月	東京坂学会「坂まつり」に参加 講演と坂歩き 市役所主催小文間史跡巡りウォーキングに協力 第13回市民ギャラリー展示	旧水戸街道小金宿(馬橋) 東京四谷 小文間
2017年(平成29年) 4月	東京坂学会メンバーとの交流(駅周辺散策) (取手の坂道愛好会活動アルバム No.3)	野々井、岡・下高井 利根町布川
12～1月	第14回市民ギャラリー展示	旧水戸街道千住宿・土浦宿 常総市
2018年(平成30年) 3月 4月 5月 10月 12～1月	市の情報誌「ひこばえ」に紹介記事掲載 藤代市民ギャラリーにて2週間展示 リボンとりで3Fでの長期展示(6月中旬まで) 毎日新聞記者の取材を受ける。同紙に記事掲載 第15回市民ギャラリー展示	利根町鎌倉街道 房総蓮沼ツアー(4月) 吉村健康コース 旧水戸街道府中宿(石岡) 東京市谷・神楽坂
2019年(平成31年、令和元年) 1～2月 2月 3月 12～1月	リボンとりで3Fで展示 「ひだまりのまち」プロジェクトメンバーと台宿散策 取手男性合唱団メンバーと小文間散策 第16回市民ギャラリー展示	我孫子2回目の散策 旧水戸街道新宿(亀有)・松戸宿 湊沼・大洗ツアー(4月) 浅草・隅田川クルーズ
2020年(令和2年) 10月 11月 12～1月	新型コロナウイルス感染拡大により前半は活動自粛 (3ヶ所の散策コースマップ) 第17回市民ギャラリー展示	小堀地区 渡し船・散策 旧水戸街道牛久宿
2021年(令和3年) 4月～6月 7月	リボンとりで4Fにて「取手の坂道12選」などを展示 (記念誌「取手の坂道あれこれ」発刊)	取手市内桜の名所巡り

# 「取手の坂道愛好会」活動スナップ 2005.10~2012.8



「将門の里 岩井」国王神社 2005.10



「さくら坂」道標除幕式 2007.2



「岡・下高井散策」水神岬 2007.4



紅葉の「南アルプス」を横断北沢峠 2007.10



「戸頭公園」お花見 2010.4



「小文間散策」後 暑気払い古老の話聞く 2010.8



「我孫子散策」旧川村別邸 2010.11



「我孫子景観を育てる会と台宿散策」取手本陣 2011.3



「小文間散策」アルスの森公園で 2011.11



小文間「大日坂」手作りの木の道標建立 2011.11



小文間「大日坂」ライトアップで花見 2012.4



「貝塚・上高井散策」慈光院で 2012.5



「小文間西側散策」大聖寺本堂 2012.6



東京散策（千駄木・根津・本郷）東大講内三四郎池 2012.7



「治助坂の道標」補修作業 2012.8

# 「取手の坂道愛好会」活動スナップ 2012.9~2013.11



「さくら坂の道標」補修作業 2012.9



「小貝川左岸つくばみらい側散策」  
市之台農業ふれあい公園で昼食 2012.9



「岡・下高井散策」岡神社横の広場 2012.10



水戸街づくりの会の案内で「水戸の街巡り」  
水戸駅前「水戸黄門像」の前 2012.11



「小文間の坂道に道標建立の為の下見」  
福永寺裏の「中妻貝塚」辺り 2013.3



「かたらいの郷」お花見 2013.4



「野々井・米ノ井散策」三仏堂前 2013.4



「東京散策」十条・王子を歩く  
旧古河庭園洋館前 2013.5



「台宿散策」井野天満宮前 2013.6



「井野台散策及びキリンビール見学」2013.7  
散策後キリンビール迎賓館で暑気払い



「戸頭の坂道散策」宮の前公園で 2013.9



小文間「勘右衛門坂」に道標を建立 2013.11



小文間の5箇所の坂に道標を建立 2013.11  
「勘右衛門坂」で道標の除幕式を



除幕式終了後道標前で記念撮影 2013.11



「鉄道博物館見学ツアー」 2013.11



# 「取手の坂道愛好会」活動スナップ 2014.3~2016.3



小文間散策「直右衛門坂」道標前 2014.3



花見を兼ね岡・下高井散策さくら荘にて 2014.4



「高遠花見ツアー」城址公園 2014.4



白山・新町散策 294号道路下の壁画 2014.5



東京散策（春日・白山）白山神社前 2014.6



「台宿散策」新しい道標の候補地を巡る  
井野天満宮入口で 2014.9



「榎坂」の坂の下に道標建立 2014.10



「芸大見学を兼ね小文間散策」 2014.10



台宿の3箇所の坂に道標を建立  
「山中坂」で除幕式 2014.11



「図書館祭り」に展示 2015.4~6



旧水戸街道「若柴宿（龍ヶ崎）を歩く」2015.5



旧水戸街道「藤代宿」藤代本陣跡 2015.7



「東京散策」湯島界限を歩く 聖橋で 2015.9

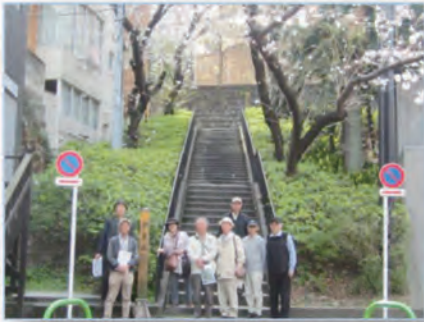


秋の谷川岳・水上温泉の旅 藤原湖にて 2015.10



「東京散策」東京坂の会の案内で赤坂界限  
を歩く 愛宕神社男坂前で 2016.3

# 「取手の坂道愛好会」活動スナップ 2016.3~2018.11



「東京赤坂アールズ」界隈を歩く 雁木坂前で  
東京坂の会の皆さんと 2016.3



東京坂学会主催「坂まつり」に参加 2016.11  
講演後四谷散策「戒行寺」火付盗賊改鬼平の碑前



取手市役所とのコラボ「小文間散策」  
銀杏の絨毯を敷き結めた西光院 2016.12



「野々井散策」白山神社前 2017.3



東京坂の会の皆さんをお招きして 2017.4  
「取手の台宿」を歩く「井野天満宮」で



旧水戸街道「千住宿を歩く」  
南千住駅前「松尾芭蕉像」前 2017.4



「岡・下高井散策」岡堰水神岬をバックに 2017.6



「常総市（水海道）を歩く」 2017.10  
重要文化財「坂野家住宅」前で



旧水戸街道「土浦宿を歩く」亀城公園にて  
土浦城（東櫓）をバックに 2017.11



取手駅東西通路「市民ギャラリー」展示  
2017.12.27~2018.1.9



「春の房総の旅」運沼ガーデンホテル 2018.4



中世の道「鎌倉街道」利根町を歩く、  
街道名物「ふじつるの木」の前で 2018.5



井野台散策とキリンビール工場見学 2018.6



旧水戸街道「府中宿（石岡）を歩く」  
常陸国総社宮 前で 2018.10



「東京散策」市ヶ谷の台地を巡る  
亀岡八幡宮 男坂前で 2018.11

# 「取手の坂道愛好会」活動スナップ 2019.1~2021.3



「リボンとりで」4Fにて展示 2019.1.17~2019.2.3



「2019年坂道愛好会お花見」さくらの杜公園 2019.4



「ひだまりのまち」プロジェクト散策  
台宿散策とキリンビール工場見学 2019.2



「いこいの村 湊沼温泉と大洗散策」一泊旅行 2019.4  
第2回坂道愛好会グランドゴルフ大会 いざ出陣！



TMC（取手男声合唱団）と小文間を巡る  
「18番札所阿彌陀堂」 2019.3



旧水戸街道「松戸宿を歩く」  
金町関所跡の碑の前で 2019.11



墨田川の屋形舟で「忘年会」吾妻橋で 2019.11



「坂道愛好会懇談会」上柳邸にて 2020.5



旧水戸街道「牛久宿」小川芋銭かつぱの碑を巡る散策 2020.11



取手市内の「さくらの見所を車で廻る」  
芸大構内の桜 2021.3



# 取手の坂道愛好会が作ったファイルあれこれ

「取手の坂道愛好会」では取手市内の 400 箇所近くの坂道の調査をした記録を纏めたり、15 箇所の散策コースマップを作成しファイルに保存している。また各コースの散策の記録や、東京地区の散策、旧水戸街道の宿場巡り、年一回の旅の記録などをファイルにし活動報告アルバムとして纏めた。また取手の名坂 12 選のカレンダーを作ったり、いろいろの活動の中から主だった散策や行事を DVD にして保存している。



取手の名坂 12 選カレンダー

「活動報告アルバム No 1」  
(2005.10～2013.10)

「活動報告アルバム No 2」  
(2013.11～2017.3)

「活動報告アルバム No 3」  
(2017.4～2021.3)



「取手の坂道 散策コースマップ」15 地区の散策コースマップをつくる。(2012.4)



「新・取手の坂道」15 地区に分け 400 近くの坂道を調べ記入した地図入りのファイル (2015.11)



「取手の坂道愛好会の活動アルバム」「取手の名坂 12 選」「旧水戸街道府中宿」「旧水戸街道牛久宿と小川芋銭の碑を巡る」「旧水戸街道土浦宿」「高遠花見の旅」「紅葉の谷川・水上の旅」「墨田川屋形舟で忘年会」「東京散策市ヶ谷の台地を巡る」「東京散策赤坂アール界隈の坂道を歩く」など今までの活動を DVD にする。



# 「取手の坂道愛好会」の活動が掲載された新聞記事あれこれ

2008.6.27 朝日新聞茨城版「学び最前線」



2011.12.15 発行 広報とりで「みんなの広場」



2013.12 毎日新聞 「散歩道」



2012.4.17 朝日新聞 「利根川新紀行」



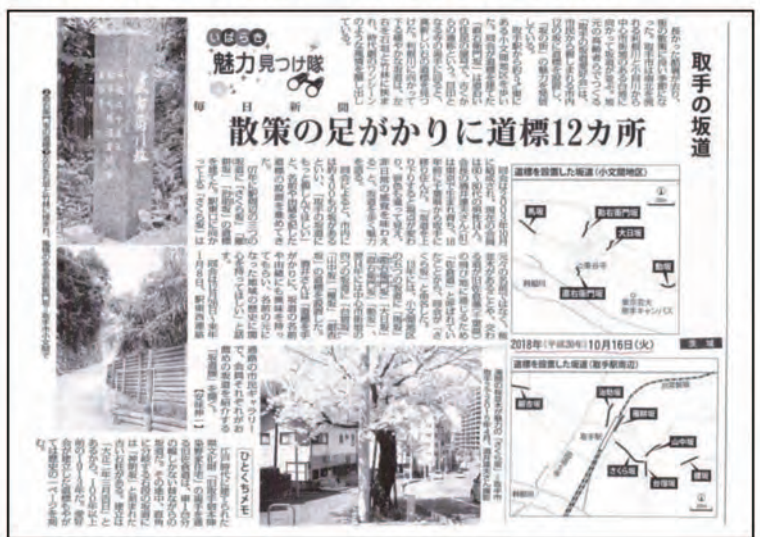
2011.6.28 朝日新聞 「まちかど」



2013.11.22 毎日新聞茨城版



2018.10.16 毎日新聞 「いばらき魅力見つけ隊」



# 取手の名坂12選

## 取手の坂道愛好会 会員推薦

坂道にはいろいろな顔がある。傾斜の急緩、湾曲の美しさ、風情・雰囲気の良い、景観の見事さ階段坂のような特徴ある形状、歴史が漂う等で色分けするのも坂道の楽しみ方の一つになる。そこで、坂道愛好会では、こうした坂道の魅力を評価して、これまで400近くある市内の坂道の中で特に魅力度の高い坂道を選んで「取手の名坂」として小冊子や市民ギャラリーの展示等で繰り返し市民に紹介してきた。その足取りを辿ると以下のとおりになる。

- 2004年 小冊子「取手の坂道 ①」市内各地の主な坂道を白黒写真・文で紹介
- 2005年 小冊子「取手の坂道 ②」第1号に別の坂道を追加
- 2012年 展示「取手の名坂」「階段坂」「名称（通称）道標のある坂道」以降カラー写真
- 2013年 展示（10回目）私の推薦する坂道①
- 2014年 展示（11回目）私の推薦する坂道②
- 2015年 展示（12回目）「地区毎の会員推薦坂」（推薦者顔写真付き）
- 2018年 展示（15回目）「取手の坂道12選」これまでの集大成として特選された坂道
- 2019年 展示（16回目）「取手の坂道12選」好評につき再展示
- 2020年 展示（17回目）「取手の坂道12選」（A2版の拡大写真で再展示）  
（下の地図は、選ばれた12の坂道の所在を示す）



# 取手の名坂12選 詳細案内図



①戸頭 「七里ヶ渡しへの坂」



②下高井 高井城址公園から「高原寺に上がる坂」



③野々井 白山神社近く「曲線の美しい坂」



④岡 「岡神社への坂」



⑤稲 「稲の急坂」



⑥ふれあい道路「銀杏坂」





⑦駒場 駒場東公園「階段坂」



⑧新町 6号沿いの「石引の坂」



⑨台宿 「さくら坂」



⑩台宿 「神明坂」



⑪台宿 「本多作左衛門の墳墓への坂」



⑫小文間 「大日坂」

## 取手の名坂12選 取手の坂道愛好会 会員推薦



① 戸頭 「七里ヶ渡し」があった利根川側から戸頭神社に上がる坂



② 下高井 高井城址公園から高源寺に上がる坂  
春は桜、秋は紅葉が素晴らしい



③ 野々井 白山神社近くの集落から田圃に下る  
曲線の美しい坂



④ 岡 岡神社に上がる自然豊かな静かな坂



⑤ 稲 中央タウン側から稲の集落に上がる「稲の急坂」



⑥ 白山 ふれあい道路の中央タウンに向かい上り下りする「銀杏坂」秋の銀杏並木が素晴らしい



⑦ 駒場 東公園の「階段坂」坂上の公園からは筑波山が眺められる



⑧ 新町 坂上から眼下に広がる利根川・遠方の富士山の眺めが楽しめる「石引の坂」



⑨ 台宿 台宿から取手駅東口に向かって下る「さくら坂」



⑩ 台宿 「神明坂」坂の上下の両脇には古い石の標識が建つ



⑪ 台宿 本多作佐衛門の墳墓に向かう坂



⑫ 小文間 大日堂・百庚申前の「大日坂」春の桜のトンネルは見事！

# 取手の坂道愛好会建立の道標のある坂道

取手には400近くの坂道がありますが、愛称・名称の付いて居る坂道は僅かしかありません。更に道標の建って居る坂はほんの少しです。そうした中で、愛好会では取手市、取手市民の協力を得ながら、主要な坂道に名称を付けて、道標を建設する活動を続けて来ました。

坂道に命名して道標を12箇所（16基）建てるに至った経緯の紹介

- I期 2007（H19）さくら坂（2基）、雁耕坂（2基）、治助坂（2基）  
取手市の補助金、取手ライオンズクラブからの寄付
- II期 2013（H25）馬坂、勘右衛門坂、直右衛門坂、大日坂、動坂  
取手市の補助金、取手大和根ライオンズクラブ、地元小文間の企業、寺社からの寄付
- III期 2014（H26）台宿坂、榎坂、山中坂、銀杏坂（2基）



# 「取手の坂道」 愛好会建立の道標の場所案内図



**第3期銀杏坂2基と台宿3か所に3基計5基**



**台宿坂・山中坂・榎坂 3か所に3基**



## 道標のある取手の坂道 12



「治助坂」昔から治助坂と言われ、その謂れはいくつかあるが定かなものはない。



「さくら坂」昔の桜並木の名残りの1本が坂の上部にあり、坂の途中には「佐倉道」と言う昔の街道が横切っているのでさくら坂と命名し道標をたてる。



「雁耕坂」昔この辺りの台地に雁が舞い降り田畑をつく様子から雁耕地と呼ばれていた。雁耕坂と命名し道標を建てる。



「馬坂」昔この坂を馬車が上がって行ったのだろうか！近くに「馬頭観音」があり関連があるのだろう。



「勘右衛門坂」正面に筑波山が見えるこの坂は坂沿いの林勘右衛門家の名前をとって付けられた。



「大日坂」坂の上に大日如来を祀った大日堂がありこの名前が付いた。昔は小文間の集落を横切るメイン道路だった。



「直右衛門坂」坂の上に海老原直右衛門さんのお宅がある。その名を冠して直右衛門坂と呼ばれている。



「動坂」全国に動坂は多く、不動尊との関係で「不動坂」と呼ばれ略されて「動坂」と言われるようになったようだ。この坂道の近くにも不動尊を祀るお堂があったのだろうか。



「銀杏坂」ふれあい道路にあるこの坂道の上りと下りの両側の銀杏並木が美しい。



「台宿坂」明治時代の台宿村のメイン道路であった。今よりも急峻であった為、台宿大坂とも云われていたという。



【山中坂】三方を山に囲まれた谷のような地形から、三溪望とも云われ、この辺りの地名が字山中坪であることから命名した。



「榎坂」橋の下に小さな橋が架かっている。橋の名称は榎橋である。この辺りの地名が字榎下であることから命名した。

## ●道標建立（Ⅰ期～Ⅲ期）作業スナップ●

第Ⅰ期 道標補修作業風景  
治助坂・雁耕坂・さくら坂  
(2012 補修 ※2007 建立)



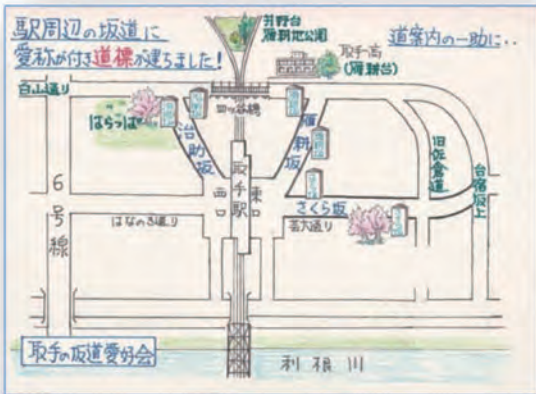
「さくら坂」



「治助坂」



「雁耕坂」



第Ⅱ期 道標建設作業風景  
馬坂・直右衛門坂・勘右衛門坂  
大日坂・動坂  
(2013.10 ※11月除幕式)



「直右衛門坂」



「勘右衛門坂」



「馬坂」



「大日坂」



「動坂」

第Ⅲ期 道標建設作業風景  
山中坂・台宿坂・榎坂・銀杏坂  
(2014.10 ※11月除幕式)



「山中坂」



「台宿坂」



「榎坂」



「榎坂」



「銀杏坂」



## 3か所の散策コースマップ

取手の坂道愛好会では取手市内にある坂道を2回にわたり調査した。その結果取手市内には大小合わせて400近くの坂道がある事を確認した。その坂道を歩きながら取手市内を15地区に分けて会員ごとに地区分担を決めて、それぞれの地区の坂道を巡る散策コースマップを作りファイルとして纏めた。今回はその中から**代表的な3つの散策コース（岡・下高井、取手駅周辺、小文間）**を選び、一般市民向けのパンフレットも作成した。

### （主な実施事項）

- 2006（H18） 坂道調査（1回目）実施
- 2012（H24） 15か所の散策コースマップファイル 作成
- 2015（H27） 坂道調査（2回目）実施
- 2020（R2） 15か所の散策コースの中から代表的な3か所の散策コースを選定し一般市民向けのパンフレット作成

### （15か所の地区名）

- 1. 市之代 2. 貝塚・上高井 3. 戸頭 4. 米ノ井 5. **岡・下高井**
- 6. 野々井 7. 稲・寺田・西 8. 新取手 9. 駒場・本郷 10. 白山・新町
- 11. 井野台（西） 12. 井野台 **13. 取手駅周辺（台宿・取手・東）**
- 14. 小文間（西） **15. 小文間（東）**



# 岡・下高井 散策コース

小貝川の水を堰で止め大池のように広がる岡堰、バックには筑波山や遠く日光連山を眺めることが出来「茨城百景」にも選ばれる。周りには「岡神社」、将門ゆかりの桔梗館あと、「仏島山古墳」や「延命寺」、桜が素晴らしい「さくら荘」「水神岬公園」、人通りの少ない静かな下高井の集落を歩き「妙見八幡宮」「お大師札所 52 番」「高井城城郭跡」四季折々色々な花が楽しめる「高井城址公園」で一服、「地藏ケヤキ」で有名な「高源寺・お大師札所 49 番」「香取八坂神社」など見所いっぱいの散策コースである。

「コース」JR 取手駅西口 (③バス停、守谷東口・谷田部車庫行き) → 岡南 (宗仁会病院前) 下車 → 「桔梗田」 → 「岡神社」 → 「仏島山古墳」 → 「延命寺」 → 「さくら荘」 → 「茨城百景碑」 → 「水神岬公園」 → 「妙見八幡宮」 → 「お大師札所 52 番」 → 「高井城城郭跡」 → 「高井城址公園」 → 「高源寺 (地藏ケヤキ) ・お大師札所 49 番」 → 「香取八坂神社」 → 関鉄ゆめみ野駅 → (関鉄取手行き) → 取手駅



春の桜と秋の紅葉が素晴らしいコース（岡神社から高源寺への散策コース）※順番縦



岡南バス停から用水路沿いの道を岡神社に向かう



岡堰の「水神岬公園」



「高井城址公園」後ろの森の中に城郭があった



岡神社近くに「桔梗姫入水の地」



大日山古墳の上にひっそりと建つ「岡神社」



小貝川沿いの道から下高井の集落に上がる入口



「高井城址公園」から「高源寺」に向かう坂



仏島山古墳から岡神社に上る坂



下高井の集落に上がる坂道



「地藏ケヤキ」で有名な「高源寺」



平将門「石の祠」



「仏島山古墳」



集落の中、静かに佇む「妙見八幡宮」



高源寺境内にある樹齢1600年の「地藏ケヤキ」



春は桜が見事な「さくら荘」



「高井城城郭」跡 お大師札所 52 番近く



杉並木が綺麗な「香取八坂神社」

# 取手駅周辺 散策コース

取手駅の東口から東に向かって台地が形成されている。この辺りは昔台宿村と呼ばれ、かつては佐倉藩（千葉）の飛び地であった所である本コースはその台地の周辺の坂道と名所・旧跡を周回するコースである。途中青線のようにコースを短縮したり、少し寄り道をしたり、又周回は右、左、どちら周りでもOKです。全行程は約4km、ゆっくり歩いても2時間のコースである。

「コース」取手駅東口—「長禅寺山門・三世堂」「新四国相馬霊場札所1, 5, 8 8番」—①「峠坂」—②「さくら坂」—③「神明坂」—④「台宿坂」ここから坂を下って本陣、八坂神社、利根川土手と寄り道も可—取手二高、⑤取手小学校を經由—⑥「蛇坂」—⑦「榎坂」—⑧「クランク坂」—⑨「山中坂」—⑩「本多作左衛門の墳墓」—「61番札所」—「井野天満神社」「31番札所」—「20番札所」—⑪「雁耕坂」—⑫「治助坂」—取手駅西口





① 峠坂



② さくら坂



③ 神明坂



④ 台宿坂



⑤ 取手小



⑥ 蛇坂



⑦ 榎坂



⑧ クランク坂



⑨ 山中坂上



⑩ 本多作左衛門の墳墓へ上がる坂



⑪ 雁耕坂



⑫ 治助坂



長禪寺山門



長禪寺三世堂



本陣



八坂神社



本多作左衛門の墳墓



井野天満宮



# 取手の奥座敷 小文間 散策コース

取手の東に位置し利根川と相馬二万石の田圃に挟まれた台地で形成される小文間は、「取手の奥座敷」とも言われ名所旧跡も多く、自然もまだまだ沢山残っている素晴らしい所です。コースは小文間の東端にある「動坂」下の戸田井バス停から「白山神社・西光院」、稲穂が輝く秋の相馬二万石の美田のビューポイントや、春の桜のトンネルが素晴らしい「大日坂」、福永寺の境内にある「中妻貝塚」など見所はいっぱい。また我々の建立した道標のある5つの坂道は、風情もあり取手の名坂とも言えこのコースの見所でもある。

「コース」 取手駅東口前（2番バス停北方車庫方面行き）—戸田井バス停下車—「西光院 卍 16・64 番札所・白山神社」—「相馬二万石の美田ビューポイント」—「阿弥陀堂 卍 18 番」—「春日神社」—「大日坂」—「大日堂 卍 72 番・百庚申」—「稲荷大明神」—「福永寺・中妻貝塚」—「勘右衛門坂」—「香取神社」—「東谷寺 卍 66 番」—「直右衛門坂」—「宗四郎坂」—「首切り地藏」—「旧小文間小学校」—小文間公民館バス停—取手駅東口前



取手の奥座敷 史跡を巡る小文間の東側散策コース ※順番縦



「西光院 卍 16 番・64 番札所」



大日坂の上部にある「大日堂・百庚申」



福永寺前の「勘右衛門坂」(カンニモ坂)



「白山神社」



春さくらのトンネルが出来る「大日坂」



「香取神社」小文間公民館裏



相馬二万石の美田と筑波山の「ビューポイント」



福永寺境内の一角にある「中妻貝塚」



「東谷寺・卍 66 番札所」



「阿弥陀堂卍 18 番札所」



「八幡稲荷大明神」地面には貝殻が一杯



東谷寺の近く利根川に下る「直右衛門坂」



「春日神社」静かな雰囲気 現在新田部落の氏神



「福永寺・毘沙門天・卍 63 番」



旧小文間小学校前にある「首切り地蔵」

# 取手の坂道愛好会と坂道文化について

坂道は、昔から、歌に詠まれ、小説の舞台にもなり、人々に親しまれてきた。取手の坂道愛好会のメンバーも美術、芸術を愛するものが多く、坂道を歩く際に、その感性の赴くままにスケッチ画や写真撮影、音楽などの文化に繋がる活動も併せて行ってきた。そのいずれもが、取手にとって坂道が貴重な財産であると思う心情から生まれたもので、それらの作品もまた坂道同様、取手の坂道愛好会は勿論のこと、取手市にとっても貴重なものであると考えられる。従って、取手の坂道愛好会会員としては、スケッチ画、多くの坂道写真そして坂道音楽が取手市民に親しまれ、市の魅力発信の一助になることを願うものである。

## 1. 坂道のロゴマーク（裏表紙）

取手市内の書道家松本掃玉氏による毛筆の「坂」の字を中心にロゴマークを構成している。

## 2. 坂道スケッチ画（P32～P34）

会員の岡ミチオ氏が描いた市内各所の坂道の水彩スケッチ画。写真とは違った味わいがある。

現況とは違った情景が描かれた坂道もあり、レトロ感がある。

## 3. 坂道の写真

坂道愛好会全体では千枚を超す写真が保存されており、貴重なビッグ・データになっている。そのほとんどはUSBなどに保存されており、愛好会の財産である。それ以外に、散策の際のスナップ写真も数多くあり、記録としてだけでなく、多くの思い出が詰まったものになっている。また写真の活用では、会員渡邊桂助氏制作による名坂の写真入り「坂道カレンダー」が毎年市民から好評を博している。

## 4. 坂道音楽（P35～P36）

会員の田中甫氏が作詞・作曲した、「取手の坂道音頭」「坂道行進曲」は、歌詞に取手の魅力を盛り込んだ市のPR歌としての思いが込められている。

「取手の坂道音頭」では、坂道は取手市の宝であり、市民の坂、四季折々の姿をみせる坂であり、道標が建てられたことも歌われている。

また、坂道行進曲では愛好会会員の心意気が歌われている。

## 5. 散策コース マップファイル

取手市各地区の坂道を巡る散策コースが地図と写真でまとめられている。コース周辺の歴史・文化的な名所・史跡も写真と文で紹介されており、文化的価値もある。

## 6. その他

駅周辺や小文間地区の地形図を制作し、展示で注目を集めている。



# 坂道スケッチ①



治助坂 (新町)



さくら坂(台宿)



雁耕坂 (台宿)



はなのき通り(新町)



西光寺前の坂 (野々井)



直右衛門坂(小文間)



神明坂(台宿)



峠坂(台宿)

# 坂道スケッチ②



寺田の坂(寺田)



井野台西坂(井野台)



銀杏坂 (白山)



へび坂(台宿)



七里ヶ渡しの坂(戸頭)

# 坂道スケッチ③



台宿坂(台宿)



虚空地藏坂(井野台)



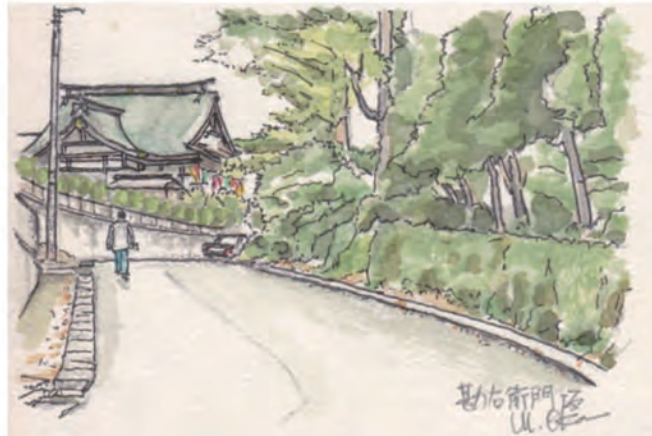
本郷西坂 (本郷)



宗四郎坂 (小文間)



大日坂(小文間)



勘右衛門坂(小文間)

# 取手の坂道音頭

作詞・作曲 田中 甫

1. はああ～あ 取手よいとこ 坂道の街よ 前も後ろも坂ばかり 人の一生も坂ばかり  
上って 下って どこへゆく よいとよいよ～い 次も坂
2. はああ～あ 取手歩けば 坂道に出会う 西の戸頭 七里が渡し 東小文間 大日桜  
遠くに 筑波 そばに 利根 よいとよいよ～い 宝坂
3. はああ～あ 取手の坂 美男子揃い 石の道標が良く似合う 名前の知らない坂もある  
歩いて 止まって 振り返りゃ よいとよいよ～い 美人坂
4. はああ～あ 取手市民は 元気が自慢 老いも若きも坂をゆく 道の途中で出会ったら  
笑顔で 挨拶 ごきげんさん よいとよいよ～い 市民坂
5. はああ～あ 皆な来なされ ふれあいの道へ 風に舞い散る春桜 黄金まばゆい秋銀杏  
坂道彩る 花の帯 よいとよいよ～い 四季の坂
6. はああ～あ 皆な集まれ 坂道の音頭 舞台囲んで輪になって 陽気に歌って踊ろうよ  
進んで 下がって 一回り よいとよいよ～い 祭り坂  
よいよいよいとな 坂道じゃんじゃん

は あ あ と り で よ い と こ さ か ち の ま ち

よ - - ま え も う し ろ も - さ か ば か り ひ と

の い つ し ょ う も さ か ば か り の ほ つ て

く だ つ て ど こ へ い く - - よ い と よ い よ - い

つ ぎ も さ - か -

# 坂道行進曲

作詞・作曲 田中 甫

そらをみあげればくもひとつなく  
 さかみちをくだればみちのーはーに  
 とかりできつーいのすみかーとーし

さかみちのうーえにひはかがやく  
 きせつのくさいばなるむかえてくれる  
 ここのまをあいするこころのままに

われらさかみちあいこうかいきょうものぼるぞげんきよく  
 われらさかみちあいこうかいはなもみもあるなかまたち  
 われらさかみちあいこうかいこのさかあのさかめぐりゆく

われらさかみちあいこうかいとりでのさかにさかえあれ

1. 空を見上げれば 雲ひとつ無く  
 坂道の上に 陽は輝く  
**われら坂道愛好会**  
 今日も上るぞ 元気よく



2. 坂道を下れば 道の端に  
 季節の草花 迎えてくれる  
**われら坂道愛好会**  
 花も実もある 仲間たち



3. 取手を終の棲家とし  
 この街を愛する 心のままに  
**われら坂道愛好会**  
 この坂 あの坂 巡りゆく



**われら坂道愛好会 取手の坂に 栄あれ！**

# 取手の坂道愛好会メンバー紹介 2021年5月現在

## 氏名・人物寸評

### 1 段目

- 会長 酒井 達夫 東京上野生まれ テレビ技術屋 坂道愛好会の顔で多彩な人脈を持つ 合唱団員  
 副会長 渡邊 桂助 東京神田生まれ 元広告屋 多趣味で映画・芸術鑑賞・登山・旅行・料理・合唱  
 スポーツなど何でもかじる好奇心の塊 合唱団員  
 副会長 田中 甫 東京深川生まれ 経営企画マン 坂道音頭・行進曲の作詞作曲者 数学の先生もやる  
 会計 田中繁之助 東京深川生まれ 自宅の庭で野菜作りも本格的 新四国相馬霊場を巡る会の世話役  
 名誉会員 葉梨 信行 地元の名士 長年国政に貢献、愛好会引退後も何かと会を支援していただいている。

### 2 段目

- 会員 新井 啓之 東京深川生まれ カラオケ大好き、金魚・メダカを飼育 市政と関わる活動を長く続けている  
 会員 遠藤清次郎 三重県伊勢市生まれ 竜ヶ崎在住 フィナンシャルプランナーとして大活躍 趣味は歩くこと  
 会員 上柳 隆 東京浅草生まれ 元商社マン 庭仕事のほか、取手二高のグラウンド整備と相馬霊場  
 薬師堂の管理などご近所奉仕で多忙 散策を日課に晴行雨読  
 会員 岡 ミチオ 兵庫県西宮市生まれ 趣味の水彩スケッチ画が本誌に掲載 東京坂の会会員 テニスで  
 体力維持 銭湯マニアでもある 四国霊場八十八箇所お遍路歩き完遂 大の阪神ファン  
 会員 片所 敏春 新潟県妙高市生まれ 現在もアパレル会社の現役で活躍 趣味は登山

### 3 段目

- 会員 佐藤 章 前橋市生まれ 中高ではラグビー部所属 転勤などで全都道府県暮らしを経験  
 趣味は旅行・音楽鑑賞など 医師会・薬剤師会との交流も 合唱団員  
 会員 高橋 勝弘 東京亀戸生まれ 旅のプロ 国内外の観光地に詳しい ウォーキング会の世話役でもある  
 会員 根本 凡 取手生まれ 郷土愛にかけては誰にも負けないと自負 坂道愛好会創始者で初代会長  
 会員 三島修一郎 北海道生まれ 竜ヶ崎在住 一級建築士 震災後東北の復興計画に協力 合唱団員  
 会員 安本 拓治 福井県出身 仕事・趣味共に音楽 取手市音楽家協会名誉顧問、JORDAN 会顧問  
 第九で何度も海外公演 合唱団員  
 会員 吉村 隆 取手生まれ 趣味の陶芸は県展で優秀作品賞入選も 野菜づくりはプロ顔負けの腕  
 吉村健康コース発案者





「小文間地区の立体地形図」

(齋藤旧会員・吉村会員制作)

現在小文間公民館に展示中(常設)

## あとがき

2020年、世界中を不安の真っ只中に落とし込んだ新型コロナの出現で我々は巣ごもり状態になり一年以上が経ちました。「取手の坂道愛好会」では数年前から今までの活動を総まとめした小冊子を作ろうという話が出てこれまでも少しずつ資料を集めて作業を進めていましたが、この新型コロナの騒動でそれどころではないと言う気分でペースダウン。しかし新型コロナに負けずに会員が元気なうちに是非発行したいとの思いが強まり、「取手の坂道愛好会」の発足18年を迎える2021年度内の発行を目指して年初から本格的に記念誌作りに取り掛かりました。この18年間に取手市内をくまなく歩き400近くの坂道を調べて地図に書き込み「取手の坂道」のファイルを作ったのを始めとして、散策の記録を基に「散策コースマップ」を作ったり、会が出来た翌年から17回連続で市民ギャラリーに会の活動に関する展示をしたり、取手の12の主要な坂道に念願だった合計16基の道標を建てたりしました。ゼロからスタートした「取手の坂道愛好会」でしたが、会員の取手の坂道に対する強い思いでこのような形あるものを沢山残す事が出来ました。本記念誌「取手の坂道あれこれ」は今迄の会の活動の大量の資料を整理し、又新しく加えたりして出来上がった出版に関しては全くの素人の手造り作品です。それだけに独りよがりの内容ですが会員にとっては思い出深いものが沢山盛り込まれております。「取手の坂道愛好会」がキーワードにして活動してきた「坂道」を通して「坂道の街取手」の魅力を感じ、改めて取手の街に親しみを持って頂ければと思っています。なお記念誌発刊に際し印刷・刊行の最終段階では岸幸雄氏に全面的にお世話になりました。心からお礼申し上げます。

渡邊桂助

2021年7月 発行

発行者 取手の坂道愛好会 会長 酒井達夫

〒302-0013 取手市台宿 2-27-28-301 Tel 090-8747-4242

編集 取手の坂道あれこれ 編集スタッフ

酒井達夫 田中繁之助 田中甫 渡邊桂助

表紙デザイン・レイアウト 岸幸雄



取手の坂道愛好会